



繊維工業

# 中伝毛織株式会社

なかでんけおり  
(一宮市)

企画部テキスタイルデザイナー  
主任

しみず  
清水 わかなさん

## オトメゴコロをくすぐるポイント♡

自分の発想をカタチにして  
ファッションの流行をつくる

## 新しいことに挑戦できる環境で、 自分の糧になる経験を積んでいます

**私**の仕事は、生地企画・設計図づくりから機械操作、生地検査などの工程に携わり、新しい生地を生み出すこと。織物とニットの良さを取り入れた編み地をつくる“横編機”を使用する新しい部署での仕事です。流行のモノや自然からインスピレーションを得て、糸の種類や色を決め、設計図をつくり、適切に表現されるように機械をセッティングします。自分には機械の操作は無理だと思ったけど、使ってみると作り出すという感覚がわかるし楽しい。何でも飛び込んでやってみようという気持ちで大事! 試行錯誤のなかでベテランの職人さんの意見をいただくことも多く、できないと思っていたことが周囲の人たちの技術で解決できたときは、すごく嬉しいです。

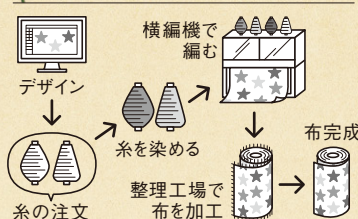


すべてできあがるのを待たずに布をチェックできるオリジナルの検査台は清水さんの発案で誕生

## ココにときめく!

機械の性能を最大に活かして、どこにもない新しい生地が作れる。それができる環境にいること!

### 図説あいちのモノづくり①



完成した布は見本品。客先からの追加注文などを経て初めて量産される。1年半ほど先のシーズンを見据えて20~30種類の布を開発している。

※整理とは…染色、漂白、起毛などの加工をすること

## モノづくり女子を支えるカイシャ

### 女性の感性を活かせる モノづくり環境があります

熟練者の視点と女性の視点を合わせた新しい発想の可能性を引き出していくことで、いままでにない新商品開発をめざしています。また、機械周りの設備をはじめ、女性が仕事をしやすい環境づくりに努めています。



ニット工場部 部長・工場長  
小笠原 康夫さん (右)  
原糸・企画・生産管理部 係長  
西沢 智裕さん (左)